

段ボールコンポストQ&A

生ごみの
ひと絞りで
約40gの
ごみ減量!



設置編 ?

Q ピートモスとは?

A ミズゴケ、シダなどを乾燥・粉碎したものです。通気性(排水性)や保水性がよく、微生物の住み家となるすき間が多いため、理想的な土壌改良剤として園芸用資材等に利用されています。

Q もみがらくん炭とは?

A イネのもみ殻を蒸し焼きして炭化させたものです。ピートモスの酸性を弱め、臭気も弱めます。土中の微生物の動きを活発にさせます。

Q どこに設置したらいいの?

A 小バエやダニなどが発生しますので、なるべく戸外に設置した方がよいです。置く場所は、**風とおしのよい軒下などの雨に濡れない場所**に置いてください。温度は15℃以上になる場所が理想的です。

重要

Q 台は必要なの?

A 段ボールを直接地面に置くと、底部分の通気性が悪くなり、生ごみが分解する際に発生する水分(水蒸気)の蒸発が妨げられ、カビの発生や段ボールを傷める原因となります。また、壁から5センチ以上離して置くと、通気性がさらに上がります。

Q 覆い(カバー)は必要なの?

A 小バエなどの虫が侵入しにくくするために必要です。小バエ対策は、生ごみにハエが卵を生みつける前に投入することが肝心です。投入後はよくかき混ぜて、基材を上からかけて生ごみを隠します。**防虫布カバーは下記のような使い方もあります。**



① 基材を入れた防虫カバーに生ごみを投入



② 左右に大きくひく



③ 段ボールに履す

実施編 ?

Q 入れてはいけないものは?

- A**
- 微生物が分解できないもの
 - ・貝殻、割りばしや爪楊枝、ビニール、プラスチック類、ゴムなど
 - 微生物によくないもの
 - ・塩分を多く含むもの
 - ・ねぎ類(少量であればOK)
 - ・洗剤や漂白剤、タバコの吸殻など
 - 分解しにくいもの
 - ・硬い皮や種、とうきびの芯、卵の殻、肉の骨、柑橘類など
 - ※細かくすれば、分解が早まるものもあります。

Q 臭いはするの?

A 段ボールコンポストでつくる堆肥は、土や腐葉土のような臭いがありますが、うまく管理ができていれば気にならない程度の臭いです。臭いが出るのは下記のような場合です。

- 十分にかき混ぜず、酸素が不足している。
- 大量に、動物性たんぱく質を入れている。
- 生ごみを入れすぎたり、水分が多い(水分がなくなるまで生ごみをいれないで、しっかりかき混ぜを行ってください)。

Q 臭いがするときとは?

A 臭いがするときは、投入を控え次のことを試してみてください。

- よくかき混ぜる。
- 茶がらやコーヒーがら、みかんの皮やミントなどのハーブ類を入れる。

※ほとんどの場合2~3日で消えますが、どうしても臭いが消えない場合は、中止して土に埋めてください。

重要

Q 生ごみの分解が始まらない!!

A 生ごみの投入を始めて**2週間くらい**は、基材の中に微生物が殖えないため、すぐには分解が進みません。生ごみを入れて、しっかりかき混ぜていくうちにだんだんと温度が上がり、分解が進むようになります。それまでは生ごみを控えめに投入するくらいがいいでしょう。

Q 基材の水分量の目安は?

A 基材を手でぎゅっと握っても水分が出なくて、手を開いても土だんごが崩れない。指でつつくと土だんごが崩れる程度が目安。水分が足りないときは米の研ぎ汁で補給するとよいです。



基材を握り、手を開いても崩れない状態が望ましいです

Q 生ごみが分解する温度は?

A 基材の温度が外気温より5~10℃程度高ければ微生物はちゃんと活動しています。水分が多すぎると、温度が低くなります。

重要

Q 温度がうまく上がらない?

A 基材の温度が上がらない場合は、次のことを試してください。

- 生ごみを入れたら、**きちんとかき混ぜる**。
- 基材が乾いているときは、**水を入れて湿らせる**。
- 米ぬか**やとぎ汁、**廃食用油**などを生ごみと一緒に入れる。
- 肉や魚などの動物性たんぱく質を入れる。ご飯もOK。
- 寒い時期は**毛布などで保温**したり、**お湯を入れたペットボトルを基材に挿す**。



廃食用油



米ぬか



湯たんぽ

Q 虫やカビが発生したときは?

A 虫やカビが発生しても失敗ではありません。気になる場合は、基材の温度が高くなるようにして、**毎日数回** **きちんとかき混ぜる**と発生しにくくなります。定期的に温度を上げることで虫の発生を予防することができます。また、**市販の無臭タイプの防虫剤(ピレスロイド系の忌避剤)**を段ボール内に設置する方法もあります(下の写真)。**表面にできる白カビは好気性菌で人体に無害です。基材とよく混ぜあわせてください。**

※どうしても虫が減らない場合は、**箱の中身をポリ袋に入れて密封し、コンクリの上や、夏場の車内などに放置して強制的に温度を上げてください。**熱と窒息で虫が減ります。この場合、段ボールは取り替えた方がよいでしょう。



忌避剤の見本



忌避剤の設置

Memo

生ごみを放置しない!
生ごみはできるだけすぐに容器の中に入れてください。台所に生ごみを放置すると虫が卵を産みつける可能性があります。

その他 ?

Q 何日か留守にするときは?

A できれば数日前から生ごみの投入を中止してください。よくかき混ぜて、できるだけ涼しい所に置きます。再開するときは、暖かい所に置き、よくかき混ぜてから始めてください。

Q 中止したいときは?

A 臭いや虫などの発生により中止するときは、庭などの土に埋めてください。埋める場所が無い場合は、表面の清掃管理課までご連絡ください。